



高まる意欲 膨らむ期待感

園長 米澤 千秋

新年あけましておめでとうございます。

新しい年を迎え、今日から3学期が始まりました。皆様、有意義な年末年始を過ごされたことと思います。子どもたちから話を聞くことが楽しみです。

本園は、4歳児もも組・5歳児ゆり組が日常的に関わり合える環境を意図的・計画的に整え、関わりの中で思いやりの気持ちや、自他を大切に作る心、自己肯定感を育むことを指導の重点の一つとしています。これまで様々な場面で互惠性のある関わりが生まれています。2学期末の保護者会でお伝えしました通り、育ち合う姿が見られ嬉しく思います。

そして先日、ゆり組の幼児が青柳小学校の児童の姿を見て「すごい！」「ぼくも、もっとできるようになりたい！」と憧れの気持ちをもち、意欲が高まる場面がありました。

10月中旬頃から本格的に縄跳びにチャレンジし、連続で飛べる回数が少しずつ増えてきたAさんとBさん。その日も朝から記録更新を目指し、繰り返し縄跳びを跳んでいました。すると少し離れたところで、小学校の縄跳びの授業が始まりました。そのことに気付いた2人は、吸い寄せられるように少しずつ近付き、小学校の先生の話聞いています。授業の邪魔にならない距離を保ちながら、私もその様子を見守りました。

「小学生の縄跳びは、ぼくのとは違う」「でも、ぼくたちもいっぱい跳べるよね」などと会話をする2人。一斉に跳ぶことを先生の話から理解し、2人も縄跳びを構えました。スタートの合図で小学生と一緒に跳び始め、その表情は真剣そのものです。



残念ながら縄跳びに引っかけるとその場に座り、まだ跳んでいる小学生の姿をじっと見ていました。その後、自分たちより多い回数を跳ぶ小学生の姿に「すごいなあ」とつぶやき「よし、やろう」と、再び挑戦し始めました。就学時健診を終え、もうすぐ1年生になる意識が高まってくるこの時期。日常的に間近に小学生の様子を見ることが出来る環境は、とてもよい刺激となり、意欲や就学への期待感にもつながります。

今年度の締めくくりとなる3学期。もも組は、ゆり組からの当番の引き継ぎ、来年度入園する小さい子たちを招いて一緒に遊ぶことなどを通して、進級を楽しみにする気持ちが膨らんでいきます。

ゆり組は、もも組との関わりや1年生との交流、修了式に向けての取り組みなどを通して園生活の充実感を味わうと共に、就学への期待が高まっていきます。友達と離れることや、新しい生活に対してちょっぴり不安な気持ちも見え隠れしますが、気持ちの揺れ動きに寄り添いながら、わくわくして楽しみにする気持ちがもてるよう支えていきましょう。



さて、今年午年です。午年は一説では、明るく活発でエネルギー、行動力と決断力に優れ、チャンスを掴みやすいパワフルな年とも言われます。

3学期も元気いっぱい、「親も子も楽しい幼稚園」となるよう、教職員一同努めてまいります。保護者の皆様、地域の皆様、本年もどうぞよろしくお願いたします。